

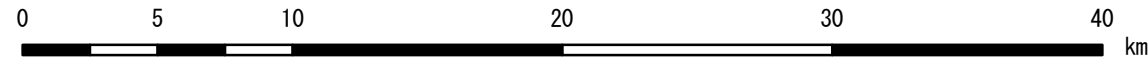
(東北地方太平洋沖地震)
宮城県沿岸 広域津波防災情報図 (引潮図)



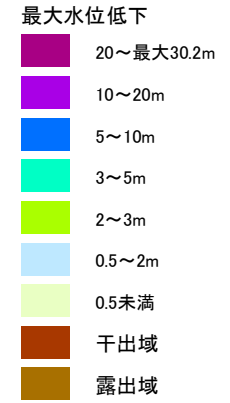
座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最低水面 (零位)
隆起量： 平均 -1.69m (-2.84m ~ -0.54m)
Zo： 0.92m
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



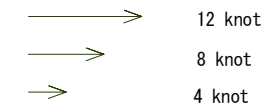
凡例



○ No. 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

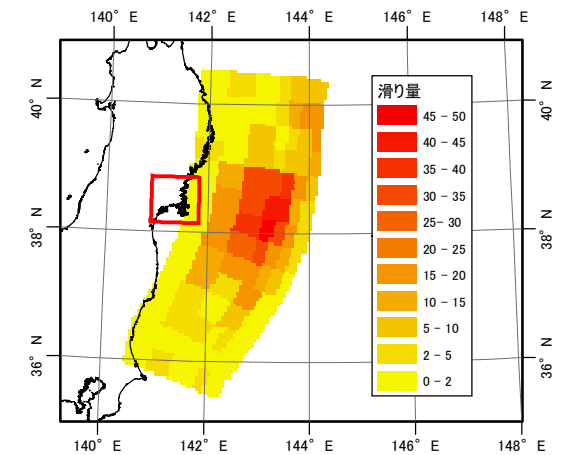
引潮時最大流 [knot]



○ 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断面モデル



東北地方太平洋沖地震

モーメントマグニチュード M_w 9.0

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」(平成24年3月1日)により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関：海上保安庁
防災情報図作成年月：平成31年2月 (初版)
地形データ作成年月：平成29年1月 (初版)